

平成30年度 京都大学大学院農学研究科修士課程第二次学生募集要項

本研究科の修士課程は大学院設置基準にいう博士課程前期2年の課程です。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは平成30年3月末までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

上記(9)、(10)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければなりません。
この資格で本年度出願する者は、農学研究科大学院教務掛（以下、大学院教務掛）の窓口へ申し出てください。

2. 募集人員及び学力試験科目

(1) 募集人員

専攻	募集専門種目	募集人員
農学専攻	栽培システム学、品質設計開発学、品質評価学、植物生産管理学	各専攻（専門種目）で若干名
森林科学	森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、生物材料化学、循環材料創成学、居住圏環境共生学	
応用生物科学	植物遺伝学、栽培植物起原学、昆虫生理学、動物遺伝育種学、生体機構学、海洋生物機能学	
地域環境科学	比較農業論、森林水文学、森林生化学、熱帯農業生態学、土壌学、生態情報開発学、施設機能工学、水資源利用工学、農村計画学、農業システム工学、生物センシング工学、放射線管理学	
生物資源経済学	農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料・環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論	

なお、専攻の概要については、別添「農学研究科概要」を参照してください。

(2) 専門種目の志望

志望専門種目は同じ専攻内に限ります。

専 攻	志 望 す る 専 門 種 目
農学／森林科学／応用 生物科学／生物資源経 済学	第3志望まで可能
地域環境科学	第2志望まで可能

(3) 学力試験科目

(イ) 英 語	提出されたTOEFL等の英語スコアを換算して採点します。
(ロ) 専門科目	専門科目(1) " (2)
(ハ) 面 接	志望する専攻ごとに、面接を課します。

(4) 入学者選抜方法

- ① 入学者選抜は、出願書類の内容及び学力試験の成績により行います。
- ② 学力試験の各科目については、それぞれに合格基準を設けており、合格するためには全科目においてその基準を満たす必要があります。
- ③ 志望する専門種目の志願者が多い場合は、当該専攻の合格最低点を上回る得点であっても、不合格となる場合があります。

3. 出 願 書 類

(1) 入 学 願 書	所定の用紙に、必要事項を本人が明記してください。 半身正面向きで出願前3カ月以内に単身撮影した同一の 写真（無背景）を、「写真票」及び「受験票」の所定 欄に貼ってください。
(2) 入学検定料振込金 受 付 証 明 書	事前に別紙「 入学検定料振込上の注意 」を参照のうえ、 所定の「入学検定料振込依頼書」を金融機関に持参し、 入学検定料（30,000円）の振込手続きを行ってください。 振込手続き終了後は「入学検定料振込金受付証明書」 を出願書類に同封してください。
(3) 英語力検定試験成績表	出願開始日から2年前（2018年1月実施の入試の場合は、 2015年11月27日）以降に受験したTOEFL-iBTまたは IELTSの英語スコア（原本）を提出してください。 詳細は、下記の TOEFL等英語スコア（TOEFL-iBT、IELTS） の提出に関する注意事項 を参照してください。
(4) 成績証明書および 卒業（見込）証明書	・出身大学所定のもの （本学農学部在学中の者及び卒業した者は「学業成績 及び卒業（見込）証明書」を提出のこと） ・出身大学以外の大学で取得した単位が認定されてい る場合には、単位を取得した大学の成績証明書も提 出すること。 ・出願資格（9）で出願するものは卒業（見込）証明 書に代えて、在学証明書を提出すること。
(5) 卒業論文概要書又は実 験、実習、演習概要書	A4横書き1,000字以内で作成し、志望専攻・専門種目 ・氏名を付記してください。（様式自由）
(6) あ て 名 票	所定の用紙を使用してください。
(7) 受験票送付用封筒	所定の封筒（速達）に住所・氏名・郵便番号をそれぞ れ明記し、362円分の切手を貼ってください。

(注1) 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書を出願資格(2)に提出してください。

また、短期大学あるいは高等専門学校に置かれた専攻科に在籍する者で、出願資格(2)に該当する見込みの者は、上記書類のほか、当該専攻科の「修了見込証明書」及び「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」(様式随意：学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの)を提出してください。

(注2) 外国人留学生は、上記以外に提出していただく書類がありますので、大学院教務掛まで申し出てください。

TOEFL等英語スコア (TOEFL-iBT、IELTS) の提出に関する注意事項

1. 各自でTOEFL-iBTまたはIELTS (アカデミック・モジュール) の申し込み手続きを行い、受験してください。TOEFL-iBTおよびIELTS (アカデミック・モジュール) テストの受験に必要な費用は各自で負担してください。
2. TOEFL-iBTの受験者用控えスコア票の原本またはIELTS (アカデミック・モジュール) の公式成績証明書の原本 (いずれもコピー不可) を出願時に提出してください。
3. 提出したスコアの原本は受験票とともに12月中旬に受験者に返送します。
4. TOEFL-iBT、IELTS (アカデミック・モジュール) をあわせて複数回受験している場合、そのうちいずれか1つのスコアを提出してください。
5. 出願開始日から2年前(2018年1月実施の入試の場合は、2015年11月27日)以降に受験したTOEFL-iBT、IELTS (アカデミック・モジュール) テストのスコアに限り提出が可能です。団体試験用のTOEFL ITPのスコアは受け付けないので注意してください。
6. 出願時にTOEFL-iBT、IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの原本の提出が間に合わない場合は、まず、その旨を明記した書面およびWeb上のスコア確認ページのコピーを提出してください。次に、原本とその返送用封筒(長形3号の封筒に512円分の切手を貼り、返送先住所を記載したもの)を平成30年1月11日(木)必着で持参または郵送「書留」により提出してください。海外へ原本の返送が必要な場合は、大学院教務掛へ連絡してください(Tel. 075-753-6014)。期限までに原本が提出されない場合は、英語能力の評価を0点として扱います。
7. TOEFL-iBT、IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアについて、不正が判明した場合は失格とし、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消します。

4. 出 願 手 続

- (1) 出願者は、前記の出願書類を、出願期間中に提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「修士課程第二次学生募集入学願書」と朱書きし、必ず「書留」にしてください。

提出先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛

- (2) 出願資格(9)、(10)により出願する者は、次の書類を平成29年11月21日(火)までに大学院教務掛に提出し、指示に従ってください。

[出願資格(9)による者]

- ① 出願資格審査申請書(所定用紙)
- ② 成績証明書(所定用紙)
- ③ 3年次における修得見込科目・単位数(所定用紙により本人の申告)

なお、この出願資格による入学試験合格者は仮合格者であり、3月末に3年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、平成30年3月15日(木)までに成績証明書を提出してください。また、仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であった者から選抜されます。

[出願資格(10)による者]

- ① 出願資格審査申請書(所定用紙)
- ② 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
- ③ 業績調書(所定用紙)

なお、口頭試問により出願資格審査を行いますが、日時についてはおって連絡します。

- (3) 障害等のある者で、受験上若しくは修学にあったっての配慮を希望する場合は、事前に大学院教務掛に申し出てください。

5. 願 書 受 理 期 間

平成29年11月27日(月)から12月1日(金) 午後5時まで(必着)。

郵送の場合も含め、一切の理由を問わず、期限後の出願は受理しません。

ただし、平成29年11月29日（水）以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

6. 試験日程及び場所

月 日	時 間	試 験 科 目	場 所
平成30年 1月20日 (土)	13:30～15:00	専門科目(1)	京都大学大学院 農学研究科 京都市左京区 北白川追分町 (市バス「京大農学部前」下車)
	16:00～17:30	専門科目(2)	
平成30年 1月21日 (日)	13:00～17:00	面接	

- (注) 1. 出題に関する詳細については、別紙「専門科目出題説明」をご参照ください。
2. 面接時間・場所等の詳細については、1月19日（金）午前9時に農学部総合館教務関係事務室前に掲示し、本研究科ホームページにも掲載してお知らせします。

7. 合格者発表

平成30年1月25日（木）午後5時頃、農学部総合館教務関係事務室前掲示板に発表し、同時に合格者へ合格通知書を発送します。電話による照会には一切応じられません。
また、翌日、本研究科ホームページにも掲載します。
「http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/admission/div_adm_info」

8. 入学検定料

入学検定料 30,000円
振込期間 平成29年11月21日（火）～平成29年12月1日（金）
(期間当日の収納印有効・期間外取扱不可)
※振込方法については、別紙「入学検定料振込上の注意」を参照してください。
※平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。
詳しくは、11月14日（火）までに、大学院教務掛まで問い合わせてください。
※平成23年3月に発生した東日本大震災による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。
詳しくは、11月14日（火）までに、大学院教務掛まで問い合わせてください。

9. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円 ※ 入学時に改定されることがあります。
授 業 料 年額 535,800円 ※ 入学時、在学時に改定されることがあります。

10. 注 意 事 項

- 専門種目の選定にあたっては、研究科概要を参照のうえ、**必ず事前に志望する専門種目の教員と連絡を取ってください。**
なお、専門種目の選定にあたって不明な点があれば、**大学院教務掛**にお問い合わせください。(TEL. 075-753-6014)
- 願書等の訂正は、該当部分を＝線で抹消し、その上部に記入してください。
- 試験室や試験に関する指示は、1月19日（金）午前9時に**農学部総合館教務関係事務室前掲示板**に掲示し、また、本研究科ホームページにも掲載しますので必ず見ておいてください。

- (4) 企業・官公庁・研究機関等に在職の者は、入学試験に合格しても、退職又は休職しなければ入学できません。
- (5) その他
- (イ) 本研究科修士課程では、(1)フルタイムの有職者、(2)育児又は親族の介護を行う必要がある者、(3)身体等に障害を有する者を対象に、標準修業年限(修士課程2年)を超えて一定の期間(上限4年間)にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを認める長期履修制度を導入しています。希望者は、詳細について大学院教務掛にお問い合わせください。
(TEL. 075-753-6014)
- (ロ) 募集要項を郵便で請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し250円切手を貼った角型2号封筒(330mm×240mm)を同封して、次のあて先に申し込んでください。
その際、必ず封筒の表に「**修士課程第二次学生募集要項請求**」と朱書してください。

**申込先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛**

- (ハ) 出願手続後は、いかなる事情があっても出願書類記載事項の書き換えはできません。
また、入学検定料の払い戻しはできません。
- (ニ) 出願者に対する宿泊施設などの紹介・斡旋等はありません。
- (6) 個人情報の取扱いについて
出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、①入学試験の実施、②入学手続き、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の目的において利用します。

平成29年11月

京都大学大学院農学研究科

平成30年度京都大学大学院農学研究科修士課程入学試験
(第二次学生募集)
専門科目出題説明

専攻	出題説明
農学	専門科目(1)は、作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、植物生産管理学、品質設計開発学、品質評価学、分子生物化学から各1問、基礎的な内容を出題する。そのうち4問を選択し、解答する。 専門科目(2)は、各専門種目（栽培システム学、品質設計開発学、品質評価学、植物生産管理学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
森林科学	専門科目(1)は、森林科学一般から出題する。 ※森林科学一般の問題は、森林科学に関わる小論文形式の共通問題である。 専門科目(2)は、各専門種目（森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、生物材料化学、循環材料創成学、居住圏環境共生学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
応用生物科学	専門科目(1)は、応用生物科学分野の学習・研究を行うに当たり必要となる知識について、生物学の基礎に関する選択問題（3問中2問を選択し解答する）、および応用生物科学一般に関する知識を問う共通問題を出題する。 “生物学の基礎”とは、『エッセンシャル キャンベル生物学』に準ずるような、広く使用されている教科書の中で扱われている事項全般に関する基礎的内容である。 専門科目(2)は、各専門種目（植物遺伝学、栽培植物起原学、昆虫生理学、動物遺伝育種学、生体機構学、海洋生物機能学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
地域環境科学	専門科目(1)は、地域環境科学一般から出題する。 専門科目(2)は、志望する各専門種目（比較農業論、森林水文学、森林生化学、熱帯農業生態学、土壌学、生態情報開発学、施設機能工学、水資源利用工学、農村計画学、農業システム工学、生物センシング工学、放射線管理学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
生物資源経済学	専門科目(1)は、生物資源経済学一般から出題する。 ※生物資源経済学一般の問題は、生物資源経済学に関わる小論文形式および基礎概念に関する共通問題である。 専門科目(2)は、各専門種目（農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料・環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。

平成29年度京都大学大学院農学研究科
修士課程入学試験結果の概要

専攻	募集区分	入学定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数
農学	第一次	33	40	40	33	1	32
	社会人		実施せず				
	第二次		実施せず				
	留学生	若干名	0	0	0		
森林科学	第一次	48	61	58	49	1	53
	社会人		0	0	0		
	第二次		3	3	3		
	留学生	若干名	2	2	2		
応用生命科学	第一次	63	78	77	62	2	62
	社会人		実施せず				
	第二次		実施せず				
	留学生	若干名	2	2	2		
応用生物科学	第一次	52	61	61	54	2	55
	社会人		0	0	0		
	第二次		3	3	1		
	留学生	若干名	2	2	2		
地域環境科学	第一次	50	63	59	51	4	50
	社会人		0	0	0		
	第二次		4	4	3		
	留学生	若干名	0	0	0		
生物資源経済学	第一次	24	16	16	14	1	23
	社会人		0	0	0		
	第二次		6	6	6		
	留学生	若干名	4	4	4		
食品生物科学	第一次	33	49	45	35	1	34
	社会人		実施せず				
	第二次		実施せず				
	留学生	若干名	0	0	0		
合 計	第一次	303	368	356	298	12	309
	社会人		0	0	0		
	第二次		16	16	13		
	留学生	若干名	10	10	10		

(注) 募集区分欄の「第一次」は第一次学生募集に係る入学試験(平成28年8月に実施)
「第二次」は第二次学生募集に係る入学試験(平成29年1月に実施)
「留学生」は私費外国人留学生特別選抜入学試験(平成29年1月に実施)
とをそれぞれ示す。